

今後の方針

1. ハイリスク疾患を2次スクリーニングへ
2. 2次スクリーニング検査の基準の見直し

反復唾液嚥下テストによる誤嚥例である予測確率

RSST の回数	誤嚥群である予測確率
2	90.2%
3	74.8%
4	48.9%
5	23.5%
6	9.0%

3回未満は精査へ

2010 西山耕一郎